令和5·6年度 栃木県PTA連合会委嘱

「学校・家庭・地域」と 協働・連携したPTA活動の促進

~とちぎ未来アシストネット事業との連携をとおして~

栃木県 栃木市 P T A 連合会事務局 栃木市教育委員会事務局生涯学習課



大類竜矢



'栃木市'ってどんなところ?



埼玉県

ふるさと'栃木市'



1市5町の合併により 2014年に現在の栃木市に

栃木市の人口: 152,355人(2025年3月31日現在)

市立小・中学校数:小学校29校 中学校13校

'栃木市'ってどんなところ?



I 栃木市PTA連合会の概要

- ○令和6年度のPTA会員数: 9,974名
 - (令和6年5月1日現在)
- ○会長1名、副会長7名、庶務3名、会計3名、監事2名
- 〇プロック長(兼:市P連副会長)、副プロック長 :2名
 - (市全体を7つのブロックに分割)
- ○事務局: 栃木市教育委員会事務局生涯学習課内

【活動方針】

「会員が協力して学校及び家庭における教育の振興に努め子どもたちの健 やかな成長を図るよう活動を進めます」

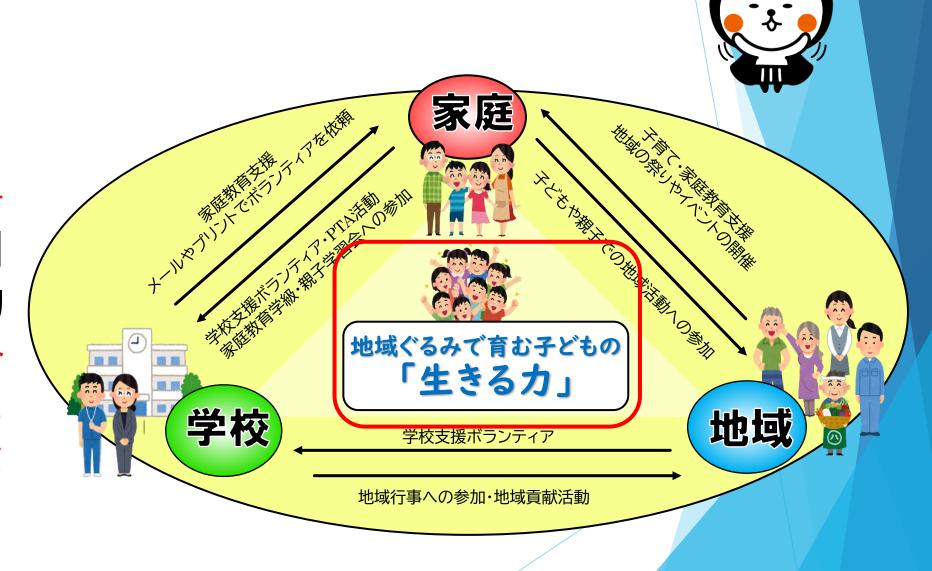
【主な活動内容】

- ○PTA大学(栃木市家庭教育講演会を兼ねる)
- ○会長研修会2回(内1回は、とちぎ未来アシストネットボランティア交流会を兼ねる)
- ○ブロック研修会(各7ブロック)
- ○その他
 - ・家庭教育学級や講演会 ・校外巡回 ・バザー ・奉仕作業
 - ・リサイクル品回収等の事業・登下校の見守りや通学路点検
 - ・親同士の結びつきを強める学習活動や文化活動
 - ・スポーツ・レクリエーション活動など

II とちぎ未来アシスト ネット事業の概要

とちぎ未来アシストネット事業について

学校・家庭・ 地域の中心に子 どもを置き、相 互に連携・協働 し、地域ぐるみ で子どもたちに 「生きる力」を 育む。



アシストネット担当者の役割



学校支援ボランティア

地域行事への参加・地域貢献活動

学校コーディネーター (各小・中学校に1名)

学校のニーズを取りまとめ、地域コーディネーターに伝えたり、地域からの要請・要望を受け付け調整したりします。



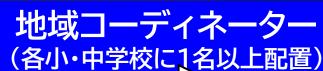
推進支援

連絡•相談•調整





地域教育協議会 (地域アシストネット運営本部)



()



地域

学校が求めるボランティア人材を探し、地域の教育力を学校へつないだり、支援の在り方をアドバイスしたりします。

全公民館には、アシストネット担当者がいて、 学校コーディネーターや地域コーディネーター からの相談を受けたり、学校が求めるボラン ティアを紹介したりします。

皿 研究の方針

【研究方針】

- (1)第1回アンケートを実施し、PTAとアシスト ネットが連携する上での課題の明確化
- (2)アンケートの結果を考察し、課題解決に向けた取 組を実施
- (3)第2回アンケートを実施し、取組の結果を確認
- (4) 成果と今後の課題をまとめる

IV 研究の実際

- PTA会長であってもアシストネットについて認知していない方が少なからずいる。
- PTA単独でやっていた活動を、地域のボランティアと協働で取り組んでいる学校が多くある。
- 「教育活動の充実」「地域住民との交流」「児童生徒の安全の確保」といった効果を感じている。
- コロナ禍によりPTA活動自体が少なくなった。
- ・地域のボランティアと連携・協働しての学習支援や学校の環境整備、学校行事等で様々な活動をしていきたいという意見が多かった。

第1回アンケートの結果から本研究の取組

1 アシストネットの認知度向上を図る。

2 PTA (保護者) と地域住民がとの連携を 強化する。

3 PTA組織の見直しやPTAの在り方についての検討する。

(1) チラシ及びリーフレットの作成





保護者用

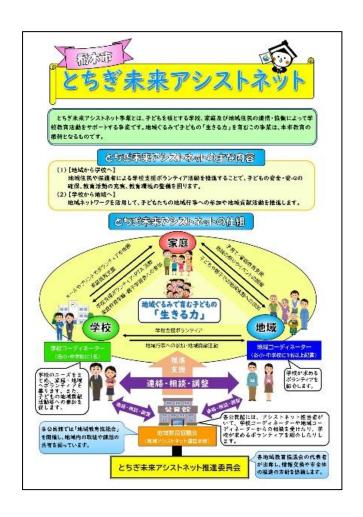
(1) チラシ及びリーフレットの作成





地域住民用

(1) チラシ及びリーフレットの作成







(2) 研修会及び説明会の開催



教職員研修



保護者説明会

(2) 研修会及び説明会の開催







民生委員研修

(3)地域コーディネーターをPTAに紹介



地域コーディネーター紹介

PTA特別号

ボランティア紹介

栃木市では『とちぎ未来アシストネット』事業を実施し、学校・家庭・地域の連携・協力を 組織的に発展させ、子どもの生きる力を育み「学校支援」「地域の絆づくり」にもつなげるた めの取組を推進しています。

アシストネットの特徴として、市内すべての小中学校及び学区に「学校コーディネーター (学校職員)」「地域コーディネーター(地域住民)」を配置し、それぞれが連携して学校や地 域でのボランティアの支援を行っています。岩舟小でも保護者の皆様や地域の方々のご協力に より子供たちがより良い学校生活を送ることができています。

これからも「できる人が できる時に できることを 無理のないように」学校支援ボラン ティアにご参加いただけますと子ども達の励みにもなりますのでご協力よろしくお願いいたし ます。



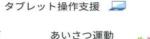
ミシン操作支援

昔の遊び体験



戦争体験の話

読み聞かせ



校外学習児童引率

かけ算九九検定

水泳指導支援

校内の消毒作業

昼休み見守り

タグラグビー講習会

チューリップ球根植え





PTAだより

(4) 学校支援ボランティアの様子を紹介した広報紙の作成

き・ず・な・む・す・ぶ



図書室大好き

生涯学習課 ☎ (21) 2490

合戦場小学校では、図書ボランティアの

ASSISTNET 方々が月に1度来校し、本の修理やラベル 貼り、本棚の掃除、掲示物の作成などを行っています。また、読書週間前には、先生方と一緒にイベントの準備やお



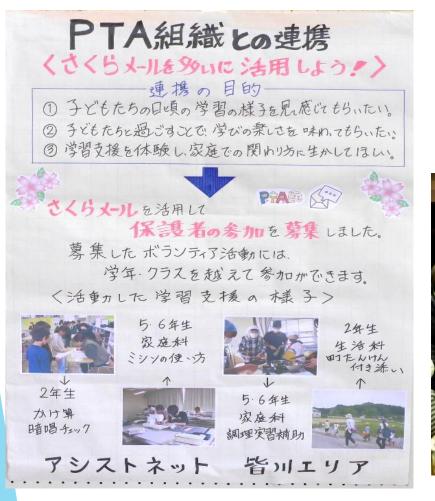


知らせをつくるなどして、色々な本に触れたり、本から広がる世界を楽しんだりする環境を整えています。子ども達は、きれいに並べられた本や素敵なディスプレイに囲まれ、自ら進んで読書に取り組み、読書量も増えています。 図書ボランティア以外にも、読み聞かせボランティアの方々が毎月2回、朝の読み聞かせを行い、子どもが本に親しみ、読書習慣を身に付けていけるような活動をしています。

アシストネットだより

広報とちぎ

(1) ボランティア交流会(兼PTA会長研修会)





(2) 学校運営協議会から提案された取組



みまもりプロジェクト



県立高校入試面接練習

(3) 保護者ボランティア募集の工夫



お知らせ2

スポットサポーター(S サポ)について

皆さんは、PTA総会資料で、昨年まで1人1回以上の協力をお願いしていた「奉仕作業」がなくなったことに気付きましたか? これから藤小 PTA は、「できる範囲で気軽に参加できる活動」にしていきたいと考えています。そこで今年度から、参加できる人をその都度募り、活動するスポットサポーター制を導入します。新しい取り組みですので、手探りの部分もありますが、次のようにやっていきたいと考えています。

- 先生方から「大人の目や手があると助かる活動」を聞き取り調査します。 【実施済み 下表参照】
- 対象となる学年の保護者に、「さくら連絡網」等を通して募集をします。 (例えば、2年生の九九チェックは、2年生の保護者に募集をかけます。) 保護者だけでなく、祖父母・兄姉の参加も大歓迎です。
- 学校で人数の取りまとめ、参加者への連絡は、「さくら連絡網」で 行います。

授業参観より、普段の

スポットサポーター

ちょこっとボランティア

(3) 保護者ボランティア募集の工夫



学校メールの活用



(4) PTA (保護者) と地域住民の学校支援ボランティアの実施



算数のまる付け



ミシン操作の補助・支援







田んぼアート(西方小)













三小祭 (栃木第三小)













静和つ子デー(静和小)













あきこい (大平西小)

(6) 社会教育団体等が主催のイベントとの連携







スリラーナイト(岩舟地域小中学校4校PTA)

(6) 社会教育団体等が主催のイベントとの連携













わっしょいまつり(皆川中・皆川城東小)

(6) 社会教育団体等が主催のイベントとの連携













ふじおかたいけんフェスタ (藤岡中)

(6) 社会教育団体等が主催のイベントとの連携













あかまっこ体験フェスタ(赤麻小)

(6) 社会教育団体等が主催のイベントとの連携













家中KIDsマルシェ (家中小)

3 PTA組織についての取組

(1) 単位PTAの組織改編

既存の5つのPTA専門部を、令和6年度に「学校サポート部」「広報部」の 2部体制とした。



藤岡小学校 PTA だより

第1号

令和 6 年 4 月 2 6 日 栃木市立藤岡小学校 PTA 広報部

令和6年度 藤小PTAは進化します!

保護者のみなさん、お子様のご入学やご進学まことにおめでとうございます。藤岡小学校 PTA 広報部です。令和5年度は、創立150周年記念事業をはじめ、たくさんの方のご協力をいただきながら、無事に完走することができました。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

さて、4月になり令和6年度になりました。本年度は本部役員が中心となり、より有意義な PTA 活動を模索していきたいと考えています。今回は、大きな変更点を紹介させていただきます。

専門部は、その年ごとに必要な部を設置

これまで藤岡小学校 PTA には、5つの部が常設されていました。しかし、設置されているために、事業をやらなければいけない部も存在していました。そこで、その年ごとに、子どもや学校、保護者に何が必要か考え、専門部を設置することになりました。今年度は、2つの専門部を設置します。

専門部名	ねらい	活動内容(予定)
学校	·S サポを活用することで先生方の負担を減らす。	·Sサポ事業の確立
サポート部	・普段見られない子どもの姿が見られる。	
広報部	・前年度から大きく変わる PTA 活動を、広報だよ	・PTA だよりの発行
	りを通して、会員に知らせる。	(デジタルで学期に1~2回
	・活動を通して、PTA 活動をより身近に感じても	程度)
	らう。	PTA 広報誌は発行しない

3 PTA組織についての取組

(2) PTAと親父(おやじ)の会との連携

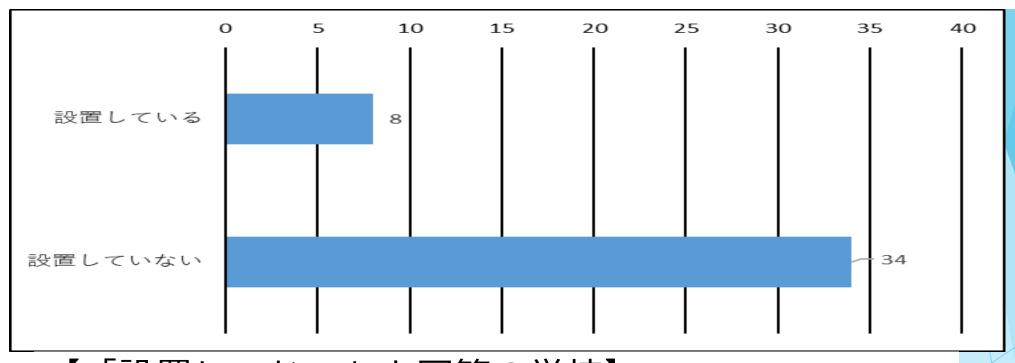


屋根の張替え(吹上中)



「学校に泊まろう」(栃木西中)

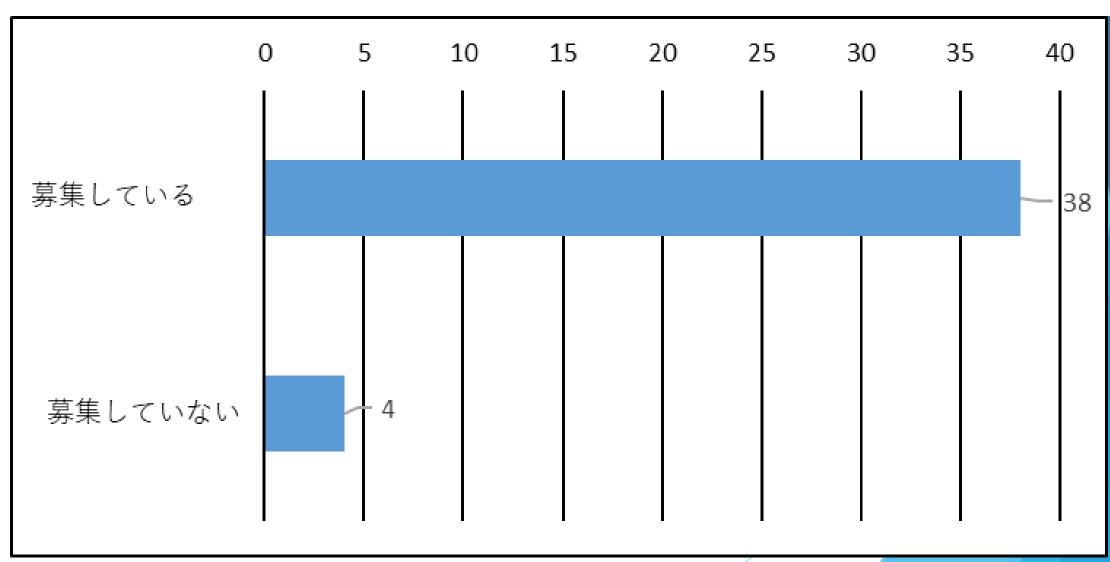
【問】貴校PTAでは「アシストネット」に関わる部門・係・担当の設置していますか。



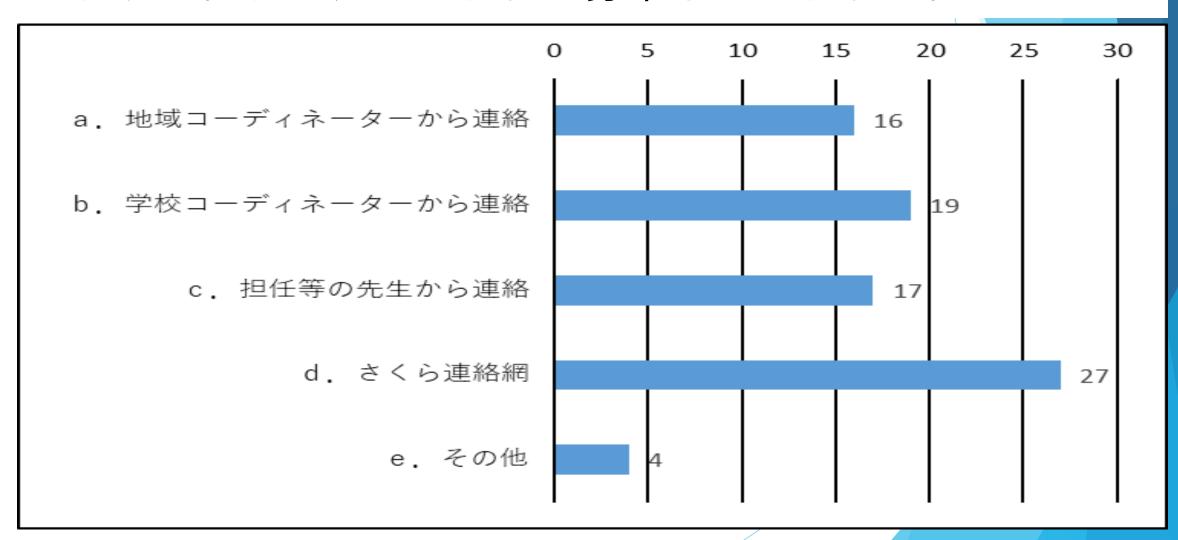
【「設置してない」と回答の学校】

- a. 次年度に設置を予定している・・・0校
- b. 設置を検討している・・・・・ 7校
- c. 設置の予定はない・・・・・・27校

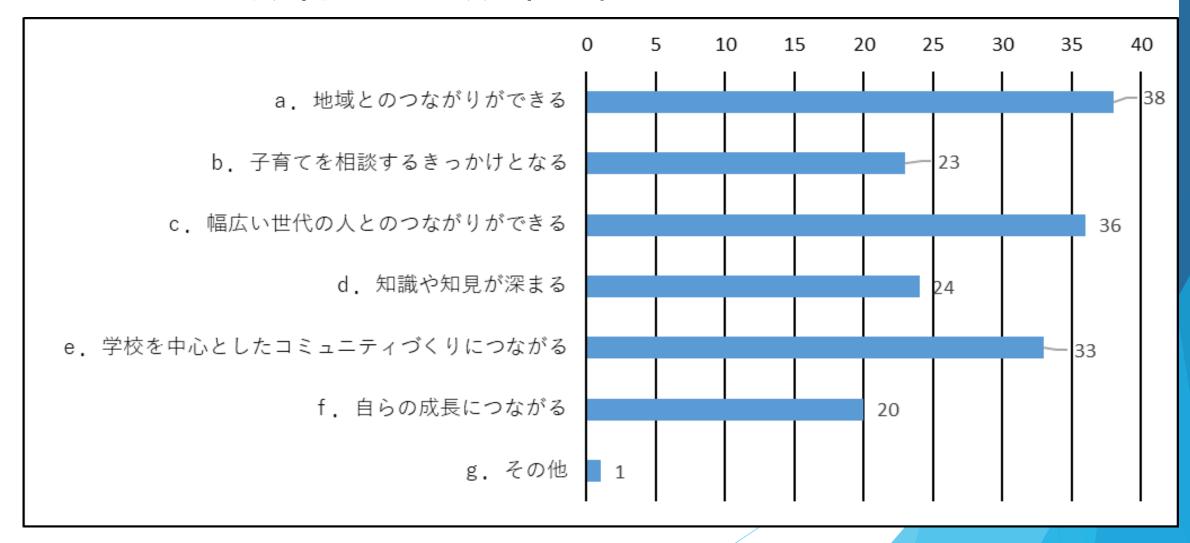
【問】保護者に対してボランティアの募集をしていますか。



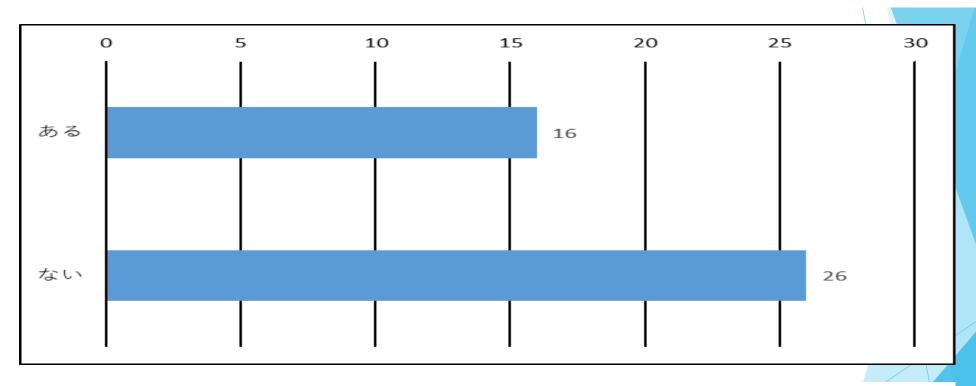
【問】保護者に対してどのようにボランティアの募集をしていますか。また、どのように募集していますか。



【問】保護者が地域住民と一緒にボランティア活動をすること によって期待される効果は何だと思いますか。



【問】貴校には、「親父(おやじ)の会」など、保護者の有志が集まってボランティア活動する組織がありますか。



【「ある」と回答した場合のPTAとの関係】

- a. PTA組織の一部として位置づいている・・・・ 1校
- b. PTAと連携(一部の連携も含む)している・・・10校
- c. PTAとは別に活動している・・・・・・ 5校

【成果】

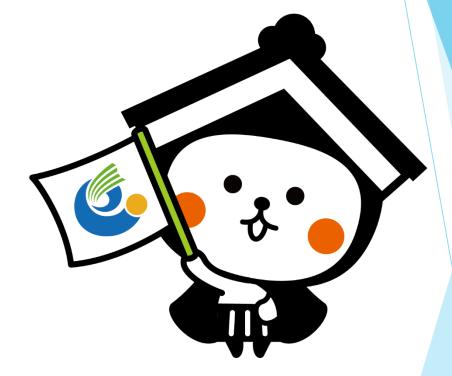
- 1 地域住民と連携することでPTA活動が 活性化した
- 2 保護者の学校理解と地域住民との交流が促進された
- 3 地域住民との協働で学習活動が充実した
- 4 開かれた学校づくりが進んだ
- 5 子どもの自己肯定感の向上や郷土愛の 醸成が図られた

【今後の課題】

- 1 PTA行事の運営等についての明確化と引継 ぎの徹底
- 2 アシストネットの情報発信の強化
- 3 学校主導ではなく、学校と地域とPTAが対等な立場で協議
- 4 卒業後も元PTAとして参加可能なシステムづくり







ご清聴ありがとうございました